

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校長名		所 在 地		
新潟デザイン専門学校		昭和51年4月1日	加藤一人		〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-54 (電話) 025-245-3381		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所 在 地		
学校法人新潟総合学院		平成7年3月24日	池田祥護		〒951-8065 新潟市中央区東堀通1-494-3 (電話) 025-210-8565		
目 的	グラフィックデザイン業界にかかわる職業人として、広告・印刷・商業デザイン制作に関わる技術等について、専門的な知識・能力を身に付け、その知識に基づく実習を通して実務に関する実践的な技術・技能を身に付けることを目的とする。デザイン・クリエイティブ業界の多くの企業や団体と連携し即戦力となる人材育成を行い、また、多くのデザイナー・クリエイターの育成により業界の発展に寄与することを目的とする。						
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
文化・教養	文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン科	2年(昼)	1800 単位時間 (又は単位)	平成7年文部省告示第7号	—	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		204 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1596単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		74人		2人	3人	5人	
学期制度	■前期：4月1日～8月31日 ■後期：9月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について ・評価基準はA・B・C・Dの4種 ・方法：作品評価、書類試験結果		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月23日～8月28日 ■冬 季：12月17日～1月4日 ■学 年 末：2月24日～3月31日			卒業・進級条件	・出席率80%以上 ・授業課題の提出 ・卒業制作、修了制作の提出 ・学費完納		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 早期の保護者を交えた対応 個別面談、個別作品指導			課外活動	■課外活動の種類 企業インターンシップ ■サークル活動 (有・無)		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 デザイン系企業 (広告業界) ■就職率 <sup>*1</sup> 87% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>*2</sup> 81% ■その他 (任意) (平成25年度卒業者に関する平成26年4月時点の情報)			主な資格・検定	・POP広告クリエイター技能審査試験 ・文部科学省後援色彩検定 ・ビジネス著作権検定 ・コミュニケーション検定		

中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成25年4月 1日在学者 74名（平成25年 4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 74名（平成26年 3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 クラス担任による個別面談、早期発見による保護者との連携</p>
ホームページ	URL: <a href="http://www.ncadnet.jp/">http://www.ncadnet.jp/</a>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

デザイン業界では、基本的な技術・知識を基に、最新の多様な変化に対応できる知識技術が求められている。そのため、県内及び県外の就職先企業・インターンシップ先等の各企業等と連携し、現在業界の求めている人材像やスキル等の動向を把握・分析し、専門課程の教育を施すにふさわしい授業科目、授業内容の改善工夫などを行うために教育課程編成委員会を設け、教育内容の質の向上に継続的に務める。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年4月1日現在

名 前	所 属
高田 哲雄	文教大学 情報学部広報学科 教授
新保 悟	ジャムルクルー株式会社 代表取締役社長
渡辺 淳一郎	株式会社アイディ・東和 取締役営業部長
齋藤 秀一	NPO 法人 アジアクラフトリンク
明間 芳規	株式会社アイ・シー・オープロモーション
加藤 一人	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 校長
畑野 裕美	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 教務部長
永井 啓司	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
吉富 克弥	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
小林 敏哉	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
岡本 恵美	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
平出 恭子	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 教務
渡辺 一史	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 事務局長

(開催日時)

第1回 平成26年9月5日 17:00~18:00

第2回 平成26年10月3日 17:45~18:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

クライアントの要望を理解しターゲットに合わせたデザインの提案を行い、プロとしての意識を持ちクオリティの高い作品制作を実施させる。個人ワークとグループワークをケースに合わせて使い分け、より現場での制作に近い状況設定で行い、企業等から具体的な助言を仰ぎ学生の知識・技術の修得状況に対して実践として活かせるレベルかどうかを企業等の実務視点にて評価を得る。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
グラフィックデザイン実習Ⅱ	イラストレーター・フォトショップの応用技術を学ぶ。企業との連携で広告物を仕事としての流れや企画・制作を行う。	ジャムルクルー株式会社 新潟県警察本部刑事部組織犯罪対策第一課

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専門的かつ実践的な知識・技術を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。そのために下記の通り教員研究環境を整える。

- ・教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・スキル研修
- ・県などの公共事業によるセミナー等への参加。
- ・一般社団法人 全国専門学校経営研究会主催の各種教員研修への参加。
- ・特定非営利活動法人 全国美術デザイン教育振興会主催の各種教員研修への参加。
- ・学内に設置される付帯教育講座を利用した自己啓発。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 27 年 1 月 26 日現在

名 前	所 属
丸山 悦代	学校法人 大彦学園 開志学園高等学校 教諭
関本 大輔	株式会社アドハウス・パブリック 代表取締役社長
高橋 徹	ツムジグラフィカ 代表
加藤 一人	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 校長
山下 まどか	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 事務局

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ncadnet.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ncadnet.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程グラフィックデザイン科) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			造形美学	美術史の変遷を教科書を中心にその時代の美術様式を検証して行く。図版や資料・映像・スライド等を活用し、時代考証を探る。	1・通	27	2	○		
○			社会研究	就職活動における知識・情報の伝達。社会人になる為のマナーなどをレクチャーする。就職情報の提供で採用試験へ向けての心構えを行う。	1・前	13	1	○		
○			広告論	グラフィックデザイン分野に関するデザイナーが必要とする知識や用語を習得する	1・前	13	1	○		
○			色彩学	デザインを表現するときに重要な色について、基礎知識から学ぶ。目的に合わせた配色方法、色彩心理を演習を通して会得する。	1・前	13	1	○		
○			デッサン	物をとらえる力を養う。基本的な鉛筆でのデッサンから絵の具を使用しての応用編まで幅広く学ぶ	1・前	26	1			○
○			ベーシックデザイン実習	グラフィックデザインにおける基本的なレイアウト等の習得や基本画材の使用法の習得・表現方法の学習をする	1・通	176	7			○
○			グラフィックデザイン実習Ⅰ	イラストレーターの基本操作を学習し、広告物の制作の仕方を習得する	1・通	27	1			○
○			グラフィックデザイン実習Ⅱ	フォトショップの基本操作を学習し、画像加工・修正を習得する	1・後	28	1			○
○			レイアウト技法	広告物の配置の仕方について学習し、実際に制作まで行う	1・通	81	3	△		○

○		タイポグラフィ	文字を画く為の基礎と検定対策授業。デザインで使用する文字について実習を通して考える。	1・通	54	2			○
○		印刷概論	DTP・印刷分野に関するデザイナーが必要とする知識や用語を習得する	1・通	54	4	○		
○		写真基礎	グラフィックデザインの大きな要素の写真表現について学ぶ。照明技術やレンズの知識といった撮影技法や、撮影技術の基礎を学ぶ。	1・通	54	2			○
○		イラストレーション	POP 検定用対策授業。基本的な手書き広告のレイアウトや技法を学ぶ。	1・通	109	4			○
○		修了制作	1年間の集大成として、プランニングから制作まで行う。仕事の一連の流れを学ぶ。	1・後	171	7			○
	○	イラストレーション	様々な粧業用イラストレーションの技法・表現方法を学ぶ。	1・通	54	2			○
	○	エディトリアル	実売の雑誌ページ制作を通し、流れ・制作・編集・管理を学ぶ	1・通	54	2			○
	○	アドタイジング	企画立案の考え方を学習し、企画に沿った広告物制作の仕方を学ぶ	1・通	54	2	△		○
	○	フィニッシュ	作品制作を通し、完成までの流れ、進行管理、データの作り方を学習する	1・通	54	2			○
	○	ビジネス	ビジネス系ソフトのワード・エクセル・パワーポイントで、ビジネス書類や集計グラフなどの制作を通して使い方を学ぶ。	1・通	54	2	△		○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			社会研究	就職活動における知識・情報の伝達。社会人になる為のマナーなどをレクチャーする。就職情報の提供で採用試験へ向けての心構えを行う。	2・通	27	2	○		
○			広告コピー論	広告物の様々なキャッチコピーについて学ぶ。消費者のニーズや世の中の流れに沿ったコピー制作を会得	2・通	27	2	○		
○			アドタイジング	企画立案の考え方を学習し、企画に沿った広告物制作の仕方を学ぶ	2・前	13	1	○		
○			コピーライティング	広告コピー論の実践。実際に作品に合わせてコピーの制作を学ぶ	2・後	14	1			○
○			プランニング	様々な広告物の企画から制作まで一連の流れを学ぶ	2・通	27	2	○		
○			グラフィックデザイン実習Ⅱ	イラストレーター・フォトショップの応用技術を学ぶ。企業との連携で広告物を仕事としての流れや企画・制作を行う。	2・通	189	7			○
○			プランニング	講義で学んだ内容を素に、企画から制作までを行う。	2・通	81	3			○
○			タイポグラフィ	デザインで使用する文字について実習を通して考える。オリジナルフォント等の制作	2・通	54	2			○
○			印刷オペレーション	印刷オペレーションに必要なクォークのデータ作りを、実習をとおし、課題制作を行う。	2・通	54	2			○
○			イラストレーション	商業用リアルイラストレーションの技法・使用方法について学ぶ	2・通	81	3			○

○		映像	放送業界について、絵コンテからテレビCMの制作方法について学ぶ。	2・通	27	1			○
○		卒業制作	卒業制作の制作過程を通し、企画から制作までを実践し、2年間の集大成の作品を制作	2・後	225	9			○
	○	タイポグラフィ	文字を画く為の基礎と検定対策授業。デザインで使用する文字について実習を通して考える	2・通	81	3			○
	○	写真	Photoshop を使用し、各種広告物に必要な画像処理・加工の技術を習得する	2・通	81	3			○
	○	イラスト	商業イラストの歴史、実際にイラストを使用しての広告物の制作	2・通	81	3			○
合計				34 科目	1800 単位時間 ( 79 単位)				